

第20 重点事業等概要

湖南圏域における世代・分野を超えた地域包括ケアの推進

令和2年度 南部健康福祉事務所

制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を越えて、高齢者だけでなく、地域の住民一人ひとりが生涯にわたり健康づくりを土台にして、病氣や介護が必要となった時の事を心配せず心豊かに安心して暮らせる地域を目指す。

番号	目標項目	目標設定の理由	達成状況(実績)	達成度	成果と課題	基本構想実施計画関連箇所	担当係
1	●健康危機対応力の向上 健康危機管理時の的確な対応	保健所は地域の健康危機管理拠点であり、平常時から食中毒予防や感染症予防に対する意識を高めるとともに、新興感染症、災害等を含む健康危機発生時には、的確に対応し、安全安心な社会の実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスによる健康危機発生への対応 患者発生：664例(疑似症含む) 濃厚接触者等の行政検査：4,660件 クラスター対応：12件 ①南部地域感染症予防対策連絡会(幹事会・情報交換会) 5回 ・ICNによる施設実地指導 3施設、研修会の開催 3回 ・研修会、実地指導をもとに啓発媒体作成・YouTubeによる配信 ②健康危機管理調整会議の開催 2回 ③湖南地域災害医療体制検討委員会開催 2回 ④保健衛生講座開催 ・29回 ・受講者 625人 	◎	<p>①② ・新型コロナウイルス感染症による健康危機の発生に対し、迅速に積極的疫学調査を実施し感染拡大防止に努めた。あわせて、健康危機管理調整会議の開催、関係機関との調整・連携により医療提供体制を確保するとともに、療養支援のしくみづくりを行った。 ・感染症予防対策連絡会のネットワーク・専門性を活用し、集団感染のリスクが高い介護等事業所や医療機関等、感染対策の充実・強化が求められる機関を対象とした研修会や情報発信を行うことができた。</p> <p>③ 保健所を災害医療の拠点とする体制について、関係機関(災害拠点病院、医師会等)の理解を得、機能向上に向けての取り組みを進められている(検討委員会継続開催、実働訓練の実施等)。今年度も管内4市中2市において実働訓練が継続実施。今年度においては、医師会と市の協定に基づく連携方法など具体的行動について検討することができた。圏域内での災害医療体制の構築が前進した。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食中毒予防を含めた健康被害発生防止のための衛生講習会は計画どおり実施できなかったが、可能な範囲で実施した。今後は、感染症対策を含めたテーマで消費者および営業者に対し衛生講習会を行い、安全・安心に係る正しい知識の普及啓発を行う。</p>	1人 自分らしい未来を描ける生き方	<ul style="list-style-type: none"> 総務係 地域保健福祉係 生活衛生係
2	●医療機能の分化と在宅医療介護の一体的な 世代、分野を超えた地域包括ケアシステムの構築	2025年を見据え、高齢者のみならず、生涯を通じた地域包括ケアシステムの構築に向け、圏域の医療保健福祉関係者が人的ネットワークを形成し、自助・互助・共助・公助を組み合わせながら協働して取り組みを進めることにより「一人ひとりが最期まで安心して心豊かに暮らせる地域」づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ①連携強化に向けた会議等の場の設定 医療・介護等+連携 計12回 実績：計 19回 ・2025年医療福祉推進協議会 1回(2/2) ・認知症疾患医療連携協議会 未開催 ・病院・在宅連携検討会議 1回(12/2) 部会 3回(ケアマネ部会9/9,10/14 退院調整部会10/19) ・在宅療養を支える圏域検討会議 未開催 ・難病対策地域協議会 未開催 各市別に災害時要援護者支援についての情報交換会を開催(4回) ・精神保健福祉医療地域包括ケアシステム協議会 未開催 各市別に相談支援体制等についてのヒアリングを実施(5回) ・小児救急医療体制：ブロック化検討会 1回、行政担当者情報交換会 2回、連絡会議 2回 ・周産期保健医療連絡調整会議 未開催 医療的ケア児の在宅療養の課題把握を目的に勉強会を開催 ②地域の多職種連携研修等、質の高いケア提供のための人材育成等 ・在宅医療(未開催)・認知症 2回(10/1,3/4)・周産期 ・地域包括ケアを進めるためのロジックモデル研修1回(8/25) 計画：計3回 実績：計 3回 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで重点として進めてきた圏域の地域包括ケアシステムの目指す姿は変わらず、構築したネットワークを活かして新型コロナウイルス感染症支援の取り組みを進めることができた。 ・新型コロナ健康危機対応を最優先に業務継続を行い、一部、会議や集合型研修を縮小しつつ、小規模の部会や市ごとの意見交換会など、連携強化に向けた会議等の場を設定できた。 加えて、新型コロナウイルス感染症を通じて圏域内の関係機関と連携・協働した支援体制の検討につながった。 ・R3.4月から小児救急医療体制ブロック化実施の検討を関係機関と行い、スムーズな体制移行に向けて最終調整中である。 ・研修は、zoomを活用するなどで、コロナ禍においても必要な人材育成を実施できた。 ・新型コロナウイルス感染症危機対応の経験を、より柔軟で対応力のある地域包括ケアシステムの構築に活かしていくため、関係機関と協議や検討を行っていく必要がある。 	1人 自分らしい未来を描ける生き方	<ul style="list-style-type: none"> 総務係 医療福祉連携係 地域保健福祉係
3	●健康づくりの推進 健康寿命の延伸 生涯を通じた健康づくりの充実強化	健康寿命の延伸、湖南圏域の保健医療福祉関係者が連携して、食・運動・禁煙など、健康づくり、生活習慣病に対する予防の推進に向けた支援を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ①地域、企業、保険者の連携強化に向けた協議の場の設定・実践 ・みんなでコラボヘルス推進会議：未開催 ・地域、職域、保険者等のコラボによる出前講座情報の更新 出前講座 利用：未実施 ・湖南圏域糖尿病対策推進会議 1回(3/17) ・糖尿病重症化予防に関する実態調査の実施 調査期間 12/25~1/15 対象 内科標榜する診療所119カ所 ・歯科保健推進会議の開催 1回(3/18) ②質の高いケア提供のための人材育成 研修等 3回(健康づくり、糖尿病、歯科) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合研修 未開催 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ健康危機対応を最優先にBCPIに沿って業務継続を行い、感染拡大防止も考慮して、会議や集合型の研修を縮小した。 ・コロナ禍の中、糖尿病予防・重症化予防のため、医療連携に関する実態調査を医師会と協働で実施できた。今後の効果的な取り組みを検討する基礎資料として地域の実態把握ができた。今後、関係機関とともに具体的な取り組みの検討を進める必要がある。 ・Withコロナの状況に応じて、働き盛り世代が主体的に健康づくりに取組めるよう、各団体の資源や情報を効果的に届ける方法を検討する必要がある。また、研修など従事者人材育成についても実施方法を検討する必要がある。 	1人 自分らしい未来を描ける生き方	<ul style="list-style-type: none"> 医療福祉連携係

※「達成状況」

◎ 目標を超えて達成(100%超)、○ 目標どおり達成(100%)、△ 目標の半ば以上の実績(50%以上)、× 目標の半ば以下の実績(50%未満)